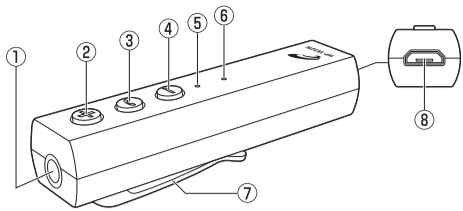


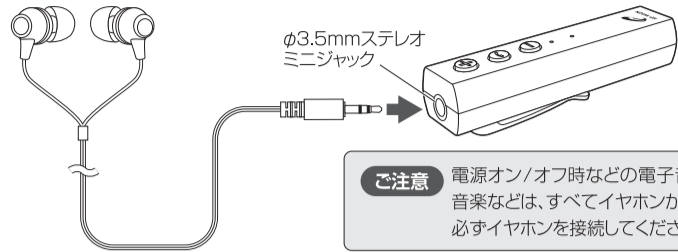
各部の名称



- ①φ3.5mmステレオミニジャック
- ②音量/スキップボタン(+)
- ③マルチファンクションボタン
- ④音量/スキップボタン(-)
- ⑤LEDランプ
- ⑥マイク
- ⑦クリップ
- ⑧充電用USBポート

イヤホンとの接続方法

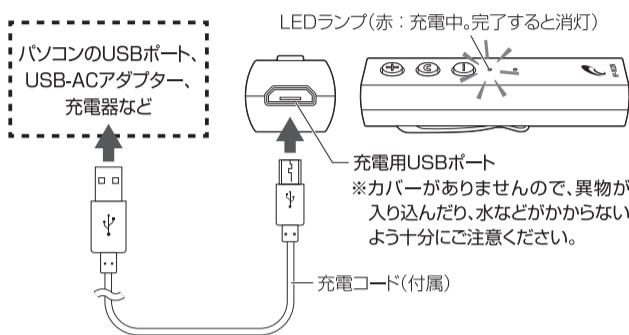
電源が切れている状態で、イヤホンのφ3.5mmステレオミニプラグを、本機のφ3.5mmステレオミニジャックに接続します。



ご注意 電源オン/オフ時などの電子音や、Bluetooth機器からの音楽などは、すべてイヤホンから出力されます。ご使用時は必ずイヤホンを接続してください。

充電のしかた

充電用USBポートとパソコンのUSBポートなどを充電コード(付属)で接続します。充電が始まるとLEDランプ(赤)が点灯し、完了すると消灯します。



ご注意 LEDランプ(赤：充電中。完了すると消灯) 充電用USBポート ※カバーがありませんので、異物が入り込んだり、水などがかからないよう十分にご注意ください。

ご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約1時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「バッテリーロー」の音声が数回流れ、LEDランプ(赤)が約5秒に1回点灯します。その後しばらくすると電源が切れますので直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をイヤホンとして使用する相手側のBluetooth機器(携帯電話やスマートフォンなど)に本機を初期登録する操作のことです。

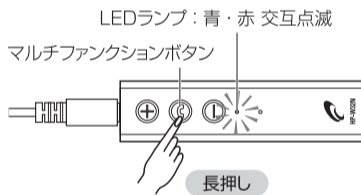
はじめて使うときは必ずペアリングを行ってください。

1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内になしてください。
- 相手側のBluetooth機器は電源が入った状態にします。

2 マルチファンクションボタンを約2秒間長押しします。

- イヤホンから「パワーオン」の音声が流れて電源が入ります。
- しばらくすると「ペアリング」の音声が流れて、サーチモードとなり、LEDランプが赤/青の交互点滅となります(赤/青の交互点滅はBluetooth機器を探していることを示しています)。



3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]
SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]
au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]
Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 **HP-W32N** が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は **0000** と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると...

イヤホンから「コネクティッド」の音声が流れ、本機を使用できる状態になります。接続完了後は、LEDランプが約6秒に1回青く点灯します。

ご注意

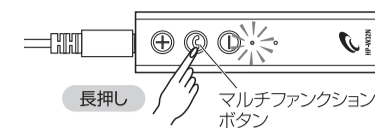
- 対応プロファイル：本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようとしている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行ってください。
- サーチモードのまま約5分30秒が経過すると、本機の電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。
- 本機は最大2台のBluetooth機器を登録できます。2台を超えて登録しようとすると古いものから削除されます。

電源のオン/オフ

電源オン

マルチファンクションボタンを約2秒間長押しします。

- イヤホンから「パワーオン」の音声が流れて電源が入ります。
- 電源が入った後は、「ペアリング」の音声が流れて、すぐにサーチモード(接続可能な機器を検索している状態)になります。サーチモードでは、青と赤のLEDランプが交互点滅します。
- はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。



2回目以降に電源を入れ、ペアリング済みの機器に自動接続したときは、「コネクティッド」の音声が流れた後、LEDランプが青と赤の交互点滅からゆっくりとした青の点滅に変わります。

電源オフ

電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを約2秒間長押しすると、電源が切れます。

- 「パワーオフ」の音声が流れて、電源が切れ、LEDランプも消灯します。

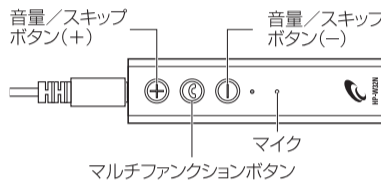
主なLEDランプ表示とその内容は右表のとおりです。

LEDランプ	内容
点灯(赤)	充電中(完了すると消灯)
点滅(青⇄赤：交互点滅)	サーチモード(接続可能機器を検索中)
約5秒ごとに1回青く点灯	接続中(再生動作中)
約6.5秒ごとに1回青く点灯	接続中(動作停止中)

ご注意

- Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消費するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- Bluetooth接続中に音声が途切れたり、サーチモードになる場合は、
 - ・本機とBluetooth機器との間に障害物がある
 - ・所定の通信距離以上に離れている
 - ・本機またはBluetooth機器の電池残量が減少している
 などが原因として考えられます。障害物の有無や両者間の距離、電池残量を確認してください。

着信・通話操作



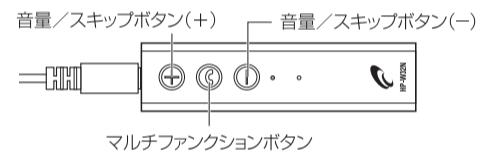
動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
リダイヤル	マルチファンクションボタンを2回続けて押す
音量を上げる	音量/スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量/スキップボタン(-)を押す

ご注意

- 通話時はマイクを指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- 接続先の機器によっては上記操作ができない場合があります。その場合は機器側で操作してください。
- リダイヤルについて：リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて音声を聴きたい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機を選択してください。
- 着信音について：携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音出力される場合があります。

オーディオコントロール

本機はA2DPに対応しているため、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽や音声を聴くことができます。



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止	電源を切る
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。直後にもう一度長押しするとひとつ前の曲を再生

ヒント

- 音量調節時に最大音量に達すると電子音が鳴ります。
- 接続先の機器によっては、ボタンを操作しても機能しないことがあります。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話を待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

	1台目	本機	2台目
1	Bluetooth ON	Bluetooth ON	Bluetooth ON
2	Bluetooth OFF	電源OFF	Bluetooth ON
3	Bluetooth ON	電源ON	Bluetooth ON
4	Bluetooth ON	電源OFF	Bluetooth OFF
5	Bluetooth ON	電源ON	Bluetooth ON

ヒントとご注意

- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合：マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合：マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合：
 - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切ってもらるか、携帯電話側で操作をしてください。
- リダイヤル機能について：1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。ただし、携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- マルチポイント機能が使えするのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。